

分別ですの巻

ごみまるです。

今回はみなさんの身近なごみトピックスである、「分別」についてお話しさせていただきます。

ぼくの姿がまだまだ透明だった頃、生活から出たごみ、例えば身をとった貝がらなどはごみ捨て場に集めて、捨てられていました。(ぼく、自然に返るごみを吸収していた頃は透明だったんですが、自然に返らないごみも吸収するうちに黄色くなってしまいました。)

ごみを集めていた場所は、今も貝塚などとして残っていて、川口市にも「新郷貝塚」などがありますね。

大昔の貝がらなどのごみでさえ、長い時間をかけても、自然に返ることなく今も残っています。

今、大昔と同じようにごみを集めて埋めたらどうなるでしょう。

プラスチック製品、電化製品、フロンガス製品、アルミ缶、ガラス瓶、乾電池、消火器、ガスボンベ、電子たばこ、スマートフォン、血圧計、リコーダー・・・
うう～、大昔には見られなかったごみがたくさんあります！

はい、例として大昔にはなかったごみをあげてみましたが、これらのごみを例えば1かしょに集めて、埋めたとしたら・・・

どれもこれも、多分この先1000年かかっても自然に返ることはなく、世の中にはごみがあふれてしまうかと。

そして、あふれるだけならいざ知らず、自然界にとって有害な物質に変化することとも。

そこで、3Rに取り組み、ごみを減らすとともに、ごみを捨てる時の「分別」も大事であると、ぼくは考えるのです。

分別して捨てることで、たとえ自然に返らないごみであったとしても、適切に処理されて、自然界に有害とならず、また、新たな資源に生まれかわるチャンスが出てくるのです。

みなさん、分別に取り組んで、ごみたちに生まれかわるチャンスをください。

なんでもかんでも一緒に捨ててしまうと、せっかくの再資源化チャンスが逃げちゃいますよ～。

【ごみまる放談について】

「ごみまる放談」は環境問題への興味、関心を持っていただくための導入部分として作成いたしました。

広い年齢層に気軽に読んでいただくことに主眼を置いたため、話し言葉や多少ふざけた表現が含まれております。

不明瞭、不適切などのお気づきの点がございましたら、資源循環課減量推進係（電話０４８－２２８－５３７０）までご指摘いただければ幸いです。